

新病院ニュース

●平成28年7月1日開院決定!

(仮称)加古川中央市民病院は、平成28年7月1日(金)加古川町本町に新築開院することが決定しました。平成26年3月の着工以降、順調に建設工事が進み、開院日が当初の計画よりも約2カ月早まりました。現在は、内装工事も進んでおり、外部の足場も徐々に取り除かれ、白を基調にした新病院の姿が眺められるようになっています。なお、新病院の開院に伴い、東・西市民病院は廃止となります。



平成27年12月7日 現在

●新病院へのアクセス

新病院へは以下のような経路にてお越しください。

【徒歩の場合】

JR加古川駅より、北西に約950mです。(約12分)
(ニッケパークタウン西側)

【お車の場合】

- 県道18号線「小門口交差点」より進入し、表示に従って駐車場へお進みください。
- 新加古川左岸線(加古川堤防)側の出入口は「左折進入のみ」となっていますのでご注意ください。(退出も左折のみです。)

【シャトルバス】

JR加古川駅と新病院を結ぶ、無料シャトルバスを運行します。平日の診察時間帯を中心に定期的に運行する予定ですので、ご利用ください。



●新病院情報ホームページ

(仮称)加古川中央市民病院に関する最新情報を以下の特設ページにて、順次お知らせしていきます。
こちらもぜひご覧ください。

【新病院情報ホームページ】 <http://www.kakohp.jp/kcch/>



地方独立行政法人
加古川市民病院機構

<http://www.kakohp.jp/>

加古川西市民病院

〒675-8611 兵庫県加古川市米田町平津384-1
TEL:079-432-3531(代)

加古川東市民病院

〒675-0115 兵庫県加古川市平岡町一色797-295
TEL:079-437-2515(代)

加古川市民病院機構から地域の皆さんへ

つ TSU つ JI

2016

1



**(仮称)加古川中央市民病院
平成28年7月1日 開院決定**

特集 P2~3 [新病院] (仮称)加古川中央市民病院はこうなる!

巻頭言 新年のご挨拶

加古川市民病院機構 理事長 宇高 功



明けましておめでとうございます。

(仮称)加古川中央市民病院も、いよいよ今年、平成28年7月1日にオープンします。

地域医療の再生・充実のため、平成23年4月に地方独立行政法人 加古川市民病院機構が設立され、加古川西市民病院(元の加古川市民病院)、加古川東市民病院(元の神鋼加古川病院)の2病院体制でスタートしました。そして、2病院間で補完・協力して医療の充実を図りながら新統合病院の計画を進めてまいりました。

加古川地域も、少子高齢化が急速に進んでいます。人口構成の変化とともに疾病構造も変化しますので、医療体制も10~20年先を見通した備えをし、市民のニーズに合ったものにしていかねばなりません。

新病院に求められているのは、地域のあらゆる医療・介護・福祉機関と連携しながら、地域医療が充実・安定していくための中核的役割を果たすことです。具体的には、①少子高齢化へ対応出来る体制、②医療の高度化に対応出来る体制、③急病・災害時の対応ができる体制等があります。

新病院では、加古川西市民病院、加古川東市民病院の2病院で担ってきた5センター(周産母子センター、こどもセンター、消化器センター、心臓血管センター、がん集学的治療センター)や既存の診療科の一層の充実を図りながら、地域の基幹病院として急性期総合医療を提供する役割をしっかりと果していきたいと思います。

地元のあらゆる関係機関と連携を取りながら、本当に安心できると言ってもらえる“ウェルネス都市 加古川”的実現にしっかりと貢献していきます。

加古川市民病院機構

特集

[新病院] (仮称) 加古川中央市民病院はこうなる!

～赤ちゃんからご高齢の方まで地域の全ての人の 健康を支える病院でありたい～



県下最大級の充実した医療機能

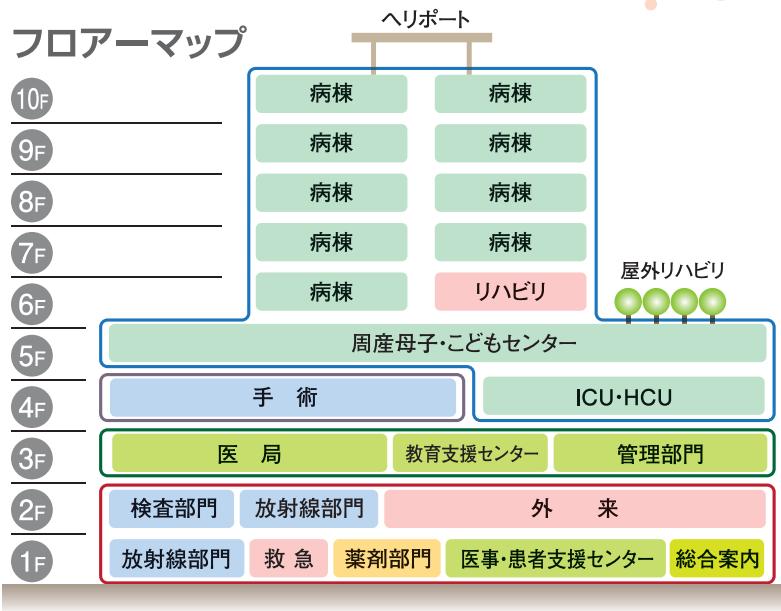
病床数：600床

ICU 26床、HCU 8床、NICU 15床、GCU 30床、MFICU 6床を含む

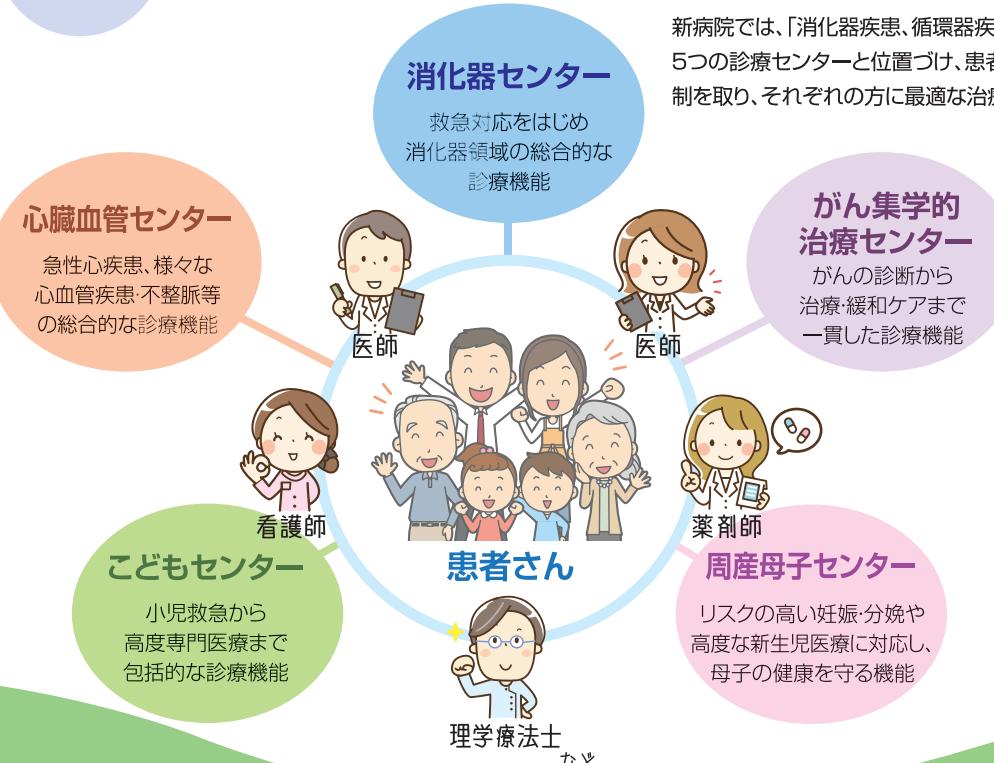
診療科：30診療科

- 内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 呼吸器内科
- 糖尿病・代謝内科
- 腫瘍・血液内科
- リウマチ科
- 腎臓内科*
- 神経内科*
- 小児科
- 外科
- 消化器外科
- 心臓血管外科
- 呼吸器外科*
- 小児外科
- 整形外科
- 形成外科
- リハビリテーション科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 産婦人科
- 泌尿器科
- 脳神経外科
- 放射線科
- 麻酔科
- 精神科
- 歯科口腔外科
- 病理診断科
- 救急科

*新規開設予定診療科



5大センター 診療科の枠を超えて“病気”を診る



統括院長メッセージ

加古川西・東市民病院 統括院長 大西 祥男

平成28年7月1日、加古川西市民病院と東市民病院は新たに(仮称)加古川中央市民病院として生まれ変わります。

病床数は600床、医師数は約170名、5大センター(消化器センター、心臓血管センター、こどもセンター、周産母子センター、がん集学的治療センター)を中心に30診療科が密接に連携し、赤ちゃんからお年寄りまで、地域住民の皆さんに最適な医療を提供します。今まで以上に救急医療に力をいれ、最新鋭の機器による高度専門医療、快適な癒しの療養環境、優秀な医療人を育成する学べる環境、災害時にも機能する設備を整えています。

「(仮称)加古川中央市民病院があるから安心だ」と皆さんから愛され頼られる病院を目指して、開院に向け職員一同取り組んでいるところです。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

救急医療 いざというとき、頼られる病院に



小児・周産期および循環器疾患に関しては、これまで通り24時間365日の救急対応を継続します。また、その他の急な発病、不慮の事故等にも他病院と連携し、しっかりと対応できる救急体制を目指します。

さらに、院内に救急隊員の研修拠点を設置し、いざという時には医師と共に患者さんのところに向かう救護体制の整備に努めます。また、ヘリポートを設置し災害時の搬送、広域からの患者受け入れ、大学病院等への搬送を行います。

高度医療 最先端の医療を地域の皆さんへ

放射線治療装置(リニアック)をはじめ、手術支援ロボットやハイブリッド手術室、磁気カテーテルナビゲーションシステムなど最新の医療技術に対応できる高度医療機器や設備を導入し最新の医療を提供します。



ハイブリッド手術室

高精度な血管造影検査を行いながら手術が行えるようになります。これにより迅速かつ安全な手術が可能になります。



放射線治療装置(リニアック)
最先端技術を搭載した放射線治療装置を導入し、ピンポイント照射や呼吸同期照射を用いた精度の高いがん治療が可能となります。

癒しの空間 “ここでの健康”を提供します

新病院の特徴の一つとして、とかく無機質になりがちな内装ついては、患者さんや来院者にとってやさしい癒しの空間となるようデザインしています。
外来ゾーンは、「なずな」をモチーフにカラフルな雰囲気になります。
入院病棟は採光を重視した構造で、加古川が一望でき四季を感じることのできる明るい空間となります。



(なずな)
七草の一つにも含まれ
万能な薬草として有名です。
また、どこにでも力強く育つ
生命力を持ち、身近で広く
愛される植物です。

